

こちら特報部

若くは言語通訳としても、不運な若くは不慮な死を被る。影響が大きくなると、収集事業そのものに支障を来す恐れもある。

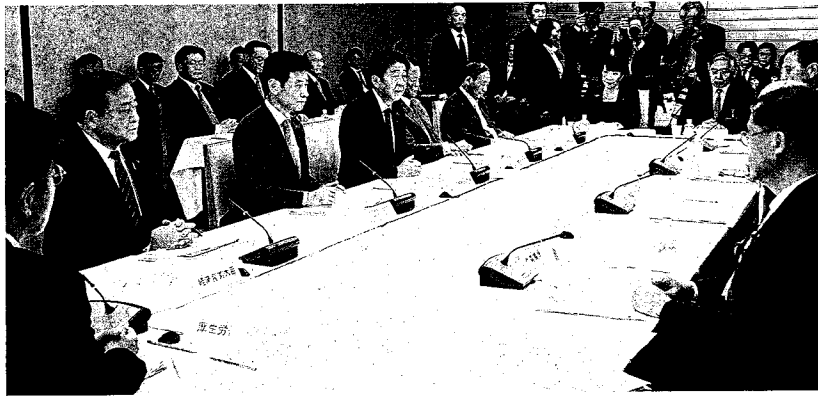
(稲垣太郎)

新型コロナウイルスの感染拡大で逼迫する医療現場。感染症病床などが足りない背景として指摘されるのが、医療費抑制のためにベッド数を削減する「地域医療構想」だ。国が昨秋、対象の医療機関名を公表した際には、地元から不安の声が上がっていたが、コロナ禍の今も取り下げられてはいない。「医療崩壊」が懸念される裏に、市場原理優先で弱められてきた医療体制があるのか。(石井紀代美、中沢佳子)

「新型コロナへの対応で、余力がないぎりぎりの状態。ベッド数が余っているなんてことは全くありません」

千葉市立青葉病院の岡崎太郎事務長が、病院の現状を語る。昨年九月、厚生労働省の「地域医療構想」で、ベッド数削減のための再編・統合が必要な全国約四百三十医療機関の一つとして公表された。

経済財政諮問会議で発言する安倍首相(左手前)から4人で目) =昨年10月、首相官邸で



青葉病院は千葉県内に十ある「感染症指定医療機関」の一つだ。約四百床のうち感染症患者用のベッドは六床。気圧を低くし、ウイルスが外部に漏れ出さないようにする陰圧室だが、岡崎氏は「それだけでは足りず、一般病床もコロナ患者が使用している。院内感染しないよう、他の病気の患者が在る病棟とは別の建物に設けました」と説明する。

感染者が在る病棟とは別の建物に設けました」と説明する。感染者が在る病棟とは別の建物に設けました」と説明する。感染者が在る病棟とは別の建物に設けました」と説明する。

ごみ

の約三百七十五万人が住む横浜市の一十八日の量は、前年同期比12.6%増えている。市資源循環局業務課の立花千

七日に感染者が確認され、二十一日から業務を停止。その後、感染者は十二人に増え、約五十人の職員が自宅待機している。

厚労相 削減構想の撤回 拒否

り、それに対応する看護師も要る。それでも「うちの病院がなければ、地域全体が困ってしまう」と話す。埼玉県の感染症指定医療機関の東松山市立市民病院も、昨秋に名指しされた医療機関。常勤の内科医は二人だけで、外科系の医師らがコロナ対応の応援に入る。野地一彦事務次長は「スタッフ全員で対応に当たっている。院内感染の可能性を心配し、他の患者の手術を先延ばしにしているケースもある」と明かす。厚労省が病院名を公表した理由は、がんや救急医療など九項目の診療実績が少なくことや、近くに競合する病院があることなど。ベッド数が多いと医療費も膨張するため、削減で医療費を抑制することを狙う。団塊の世代が七十五歳になる二〇二五年に医療費が最大になるとし、それまでに全国約百二十四万六千床のベッド数(二〇一八年現在)を約百十九万二千床に減ら

対象病院「余力なくギリギリ」

す方針を掲げる。感染症用の病床は元々数が少ないこともあって削減の対象外だが、急性期や慢性期の患者用の一般病床などを減らす。各地で「地元」の病院から急性期病床がなくなるなど反対の声が上がっていたところへ、発生したのが新型コロナ。青葉病院のように、感染症が拡大すれば一般病床も必要になることが明らかになった。都道府県はベッド削減の具体的な方針を三月末までに提出することになっていたが、厚労省は三月四日付で期限の引き延ばしを通知。ただ、同月二十七日の国会で共産党の田村智子氏が「構想」撤回を迫ったのに対し、加藤勝信厚労相は「地域の実情に応じた体制を取っておくことは必要。コロナ対策と並行して将来に向けた対策も考えるのは当然だ」と拒否した。

取材に対し、同省地域医療計画課の奥野哲朗課長補佐は「先が読めない状況なので期限を延ばした。計画をストップするのか、そのままいくのかも含めて検討する必要がある」と話す。

二エースの追跡

現場 として地域の衛生状態は悪化する。ごみを出す際のルールを徹底して守る必要がある」と強調した。

病床逼迫 政策の「ツケ」

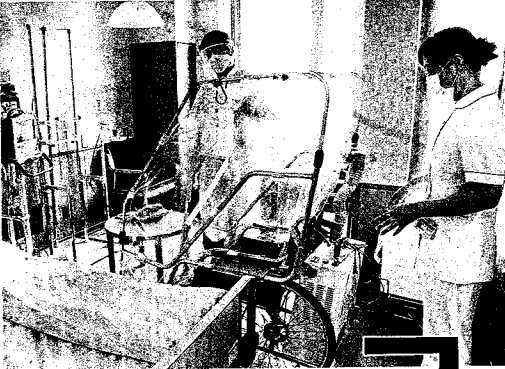
Table with 3 columns: 銘柄, 終値, 前日比. Lists various stock tickers and their values.

Table with 3 columns: 銘柄, 終値, 前日比. Lists various stock tickers and their values.

Table with 3 columns: 銘柄, 終値, 前日比. Lists various stock tickers and their values.

こちら特報部

福井県立病院の第一種感染症病床=2月、福井市で



医療体制の弱体化は最近始まった話ではない。東北福祉大の佐藤英仁准教授(医療経済学・社会統計)は「一九八〇年代から、医療費抑制を優先して医師の数を抑制し、予見していた高齢化社会にもそぐわない方策をとり続けていた」と解説する。七〇年代は医療ニーズの拡大を踏まえて各都道府県に一つ以上の医学部を設ける政策がとられ、医学部入学生定員も増加していた。ところが八二年、医師が過剰にならないよう抑制する方向に転換した。「医師が増えたと医療費も増え、国の財政が厳しくなるためだ」しかし、佐藤氏は、不採算部門の切り捨てを求められる企業と同じ論理を医療に当てはめてきた政治を疑問視する。小泉純一郎政権

感染症病床 95年 9974→18年 1882

市場原理優先 80年代から

(二〇〇一〜〇六年)の構造改革では、サラリーマンの医療機関での窓口負担を二割から三割へ引き上げた。医療機関に支払われる診療報酬は2.7%引き下げ、うち医師の診療行為に対する「本体」は1.3%減と初のマイナス改定に。その流れは安倍政権に受け継がれ、昨年の経済財政諮問会議で病院再編などが掲げられた。

そして新型コロナウイルス禍の今、受け入れ病床が逼迫している。佐藤氏は「医療費抑制を優先し、赤字とされる病院や診療科の統廃合を求め続けてきた。そのツケが回ってきた」とみる。「不採算とされる感染症病床の九割近くを公立や公的病院が担っている。医療は利益を出すことを優先する市場メカニズムにそぐわない」

コロナ禍で表面化

で、一八年の精神病床なども含む約百六十四万病床のうち、一般病床57.6%、精神病床21.3%に対し、感染症病床は0.1%だ。油井氏は「新型コロナウイルス問題では病床だけでなく、感染症に対応できる医師、看護師、検査技師の不足も深刻。平時は重視されない感染症や救急の医療の重みを顧みずに来たからだ」と語る。実際、人口千人当たりの病床が日本より少なく、医師も日本と同程度の米國や英国では、感染拡大に対応しきれず医療崩壊状態に陥っている。



新型コロナウイルスの感染者を受け入れる都内の病院に到着した救急車。1月、東京都大田区で

厚労省の調査でも、感染症病床は一九九五年の九千九百七十四床から、一八年は一千八百八十二床まで減少している。医療関係者が加入する日本医療労働組合連合会(医労連)の森田進書記長は「不測の事態に対応できない。今はぎりぎりの状態だ。感染症は突然発生する。普段は稼働率が低くても、いざというときに使えることが重要。医療費抑制や効率ばかり追求していたら立ちゆかなくなる」と危機感を募らせる。

医労連は今月七日、安倍晋三首相と加藤厚労相に医療崩壊への対策を求める要請書を提出した。公立・公的病院の再編統合計画を中止し、感染症病床を含め、必要な病床の確保を国の責任で行うよう訴えた。森田氏は「新型コロナウイルスで病床が足りない一因は、感染症病床を大幅に減らしてきたためだ」と断言する。

すべに病床や医療人材を増やすのが難しい中、どうすべきか。森田氏は「検査体制を充実させて重症者と軽症者の振り分けを早急に進め、軽症者を専用隔離施設に移す。そして、現状で数に限りのある感染症病床は重症者のために振り向けなくては」と提案する。

「いざという時使えることが重要」

話題の発掘

国内で新型コロナウイルスによる死者が十人以上確認される日が多くなった。マスクなどの防護具だけでなくベッドも足りない状況で、病院は苦闘している。その前から、医師や看護師の長時間労働は問題になってきた。ゆとりをそぎ落とした過剰な社会の弱点を、突かれてくる気がする。

マスクメモ

Table with multiple columns containing market data, including stock prices, exchange rates, and commodity prices. Includes sub-sections like '繊維紙' (Textile Paper), '機械' (Machinery), and '卸売業' (Wholesale Trade).

2020 4/27

東京 埼玉 千葉 山梨 長野 岐阜 愛知 三重 福井 滋賀 京都 奈良 和歌山 徳島 香川 岡山 広島 山口 鳥取 島根 佐賀 長門 山口 高松 愛媛 高知 福岡 佐賀 長門 山口 高松 愛媛 高知 福岡

2020年

# 感染リスク・移動自粛要請で帰省難しく



新型コロナウイルスの感染拡大で外出自粛が続く中、東京など首都圏から地方にいる親を遠距離介護する人たちの帰省が難しくなっている。急事態宣言が全国に拡大し、都道府県を越えた移動自粛の呼びかけもあり、介護の中断を余儀なくされている。 (砂上麻子)

遠距離介護する女性は両親の様子を電話で確認するとしじじは東京板橋区で

## 「認知症の進行心配」

「自分が無症状だけで、コロナに感染している。工藤さんは数年前から知症で若手県で一人暮らし、工藤さんは数年前から知症で若手県で一人暮らし。工藤さんは数年前から知症で若手県で一人暮らし。工藤さんは数年前から知症で若手県で一人暮らし。」

# 遠距離介護 無念の中断

全国の院内感染の状況 (20日時点)
自治体 施設 人数
北海道 7 22 21 21 21 21 21 21
北支群 7 22 21 21 21 21 21 21
茨城 7 22 21 21 21 21 21 21
群馬 7 22 21 21 21 21 21 21
東京都 7 22 21 21 21 21 21 21

「認知症は不安や恐れで、引き起す。医療従事者の偏見という社会的反応も心理学的反応や、差別や見えないパロディなど当初は首相主催の『桜を分かった。』とあって、さらけ出したことが、互いの生活支援を巡って議論し

遠距離介護の体験をブログで紹介している工藤さん(社会福祉学)は「感染拡大により地方の介護サービスが休止する事になり、遠距離介護には頼らざるをえない。政府や自治体は、最大限の感染対策を条件に、遠距離介護に理解を得られるように」と話す。

工藤さんは数年前から知症で若手県で一人暮らし。工藤さんは数年前から知症で若手県で一人暮らし。工藤さんは数年前から知症で若手県で一人暮らし。工藤さんは数年前から知症で若手県で一人暮らし。」

## 都内の居住地域別感染者数

4月25日時点の累計 (前日比) 都発表
国分寺市 12 (+2)
国立市 5 (+1)
福生市 1 (0)

## 東京都内の新型コロナウイルス感染者の推移



板橋区 84 (+3)
板橋区 23 (0)

## 「桜扱うNI」

「桜を分かった。』とあって、さらけ出したことが、互いの生活支援を巡って議論し

